



# 東京YMCA

2017 7/8月号

発行所 公益財団法人東京YMCA 発行人 菅谷 淳  
135-0016 東京都江東区東陽2-2-20 電話 03-3615-5562

URL <http://tokyo.ymca.or.jp>

## 東京YMCAの使命

東京YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづいて、青少年の精神、知性、身体の全人的成長を願い、地域社会に奉仕し、公正で平和な世界をつくるための運動を展開する。

We build strong kids, strong families, strong communities. YMCAは、たくましい子どもたち、家族の強い絆、支えあう地域社会を築きます。

## 日本YMCA同盟主催「トップ・リーダーシップ・セミナー」より

# YMCAの社会福祉の原点

## 阿部志郎氏 講演

横須賀基督教社会館館長  
神奈川県立保健福祉大学名誉学長

社会福祉の第一人者でYMCA歴78年の阿部志郎氏が6月16日、全国の役員や管理職に向けた「YMCAトップ・リーダーシップ・セミナー」(日本YMCA同盟主催/於・御殿場「東山荘」)で「YMCAの社会福祉の原点と『ボランティヤネット』」と題して講演しました。東京YMCAの皆さまにもぜひお伝えしたく、ご紹介いたします。



### 阿部 志郎 氏

1926年生。青山学院大学社会学部社会学専攻卒業。1957年米国ユタ州プロボロ大学社会学専攻卒業。1967年神奈川県立保健福祉大学社会学専攻教授。2007年神奈川県立保健福祉大学社会学専攻教授。2013年神奈川県立保健福祉大学社会学専攻教授。2015年神奈川県立保健福祉大学社会学専攻教授。2017年神奈川県立保健福祉大学社会学専攻教授。

### マイノリティと欧米文化

北欧のデンマークは世界大戦の時、ドイツと戦って敗戦し、占領下におかれました。占領した国々でユタヤ人を虐殺して

いたナチスドイツは、デンマーク在住のユタヤ人に対して「外出の際には胸に赤い印をつけるように」と命令しました。しかし、それが実施される日の朝早く、デンマークの王様は自分の胸にユタヤ人の赤い印をつけ、町中を馬に乗って回りまわした。それを見た市民たちは、誰に言われるともなく自主的に赤い印をつ

けたのでした。さすがのドイツ軍もこれにはどうすることもできず、デンマークのユタヤ人は保護されたといえます。◇◇◇ 今から60数年前「マリアンヌちゃん事件」が起こりました。スウェーデン人の父親をもつマリアンヌという子どもが日本に任んでいたのですが、両親が亡くなり、日本の児童養護施設に入ることになりました。これに対してスウェーデンは、まだ日本と協定も結んでいなかったにもかかわらず、「この子を養子として引き取りたい。スウェーデンには、一人の孤児に対して養育を希望する

### 国連の「幸福度報告書」から

「世界で最も幸せな国」を調査した国連の「幸福度報告書」では、155カ国中の上位5位に、北欧の4カ国が入っています。日本は北欧に劣らず豊かになりましたが51位です。何が違うのか。戦後、日本も福祉国家をめざし、社会保障制度を充実させてきました。けれども日本は、福祉は行政がやるもの、という誤解をしました。役場には「すぐやる課」などができ、「家の前の下水がつかまった」と電話があれば行って掃除をする。住民はそれを黙って見ています。それを福祉国家と考えました。

### ボランタリズムとは

ボランタリズムはもともと英国で、国によって

運営されていた国教会に対して、自分たちで出資して運営しようという「自由教会」ができたところから始まりました。志を一つにする者が集まって、自分たちの責任で組織を維持・発展させ、目的に向かって協力していく。すなわち「アソシエーション」です。労働組合、消費組合、さまざまな民間団体。YMCAのAも、アソシエーションです。日本ではすべての市区町村に社会福祉協議会が設置され、地域の福祉の向上のために活動していますが、ほとんどが行政のお金で維持されています。しかし英国は今でもボランタリーアソシエーションです。行政の出資を受けずに、自分たちで地域を作るという姿勢を貫いております。

このボランタリズムの大きな課題でもあり、性格は第一に、「一歩先を歩く」です。YMCAは、バスケットボール、バレーボール、肢体不自由児キャンプなど、たくさんの開拓をしてきました。ボランタリズムは一歩先を歩くことができず、ボランタリズムの第二の性格は「一歩遅れて歩く」です。東日本大震災でも熊本県でもYMCAは、行政等による救援活動が終わった後も、一歩遅れて、中長期的にニーズに応じて支援活動を行っています。第三は、「社会と共に歩む」。人々と一緒に、仲間として歩みます。第四の性格は「流れに逆らう」です。社会に対して問題提起をしたり、提言をします。これはYMCAにとっ

ての大きな課題でもあり、性格は第一に、「一歩先を歩く」です。YMCAは、バスケットボール、バレーボール、肢体不自由児キャンプなど、たくさんの開拓をしてきました。ボランタリズムは一歩先を歩くことができず、ボランタリズムの第二の性格は「一歩遅れて歩く」です。東日本大震災でも熊本県でもYMCAは、行政等による救援活動が終わった後も、一歩遅れて、中長期的にニーズに応じて支援活動を行っています。第三は、「社会と共に歩む」。人々と一緒に、仲間として歩みます。第四の性格は「流れに逆らう」です。社会に対して問題提起をしたり、提言をします。これはYMCAにとっ



### 総主事カフェ 菅谷 淳

東京YMCA総主事 菅谷 淳

総主事カフェによる。皆さん「はとがまめくって」ってご存知でしょうか。私がYMCAに入る前、会社で習った出勤前の持ち物リストです。は「ハンカチ」と「時計」が「はとがまめくち(財布)」、ま「万年筆、め「名刺、く「靴べら、て「手帳、ば「パス(定期)です。この8つは出勤時に忘れてはいけなないアイテムでした。ところが今、このうち時計、がまめくち、手帳、定期はスマホで間に合います。名刺もデジタルで交換可能ですし、万年筆もスマホのメールやメモで代用できます。スマホはこの他に、電話、新聞、天気予報、時刻表、地図、辞書、テレビ、万歩計その他教え切れないほどの便利なツールを満載しています。旅行に出発した時に妻を忘れても戻りませんが、スマホを忘れたら必ず戻ります。冗談はさておき、20年前、スマホがこのように私たちの生活必需品になるとは、手が届かなくていい。スマホには音声認識アプリもあり、いろいろな質問に答えてくれます。「明日の天気は?」「雨です。傘をお持ちください」「東京までの行き方は?」「大手町まで東西線で行き東京駅まで徒歩10分です」「1ドルはいくら?」「112円です」。なんと便利でしょう。最近メディアでも取り上げられていて人工知能のおかげでいろいろな試みがあります。「友達の質問をしてみました」「友達の手伝いを教えて」「友達の手伝いを教えて」「友達の手伝いを教えて」

20年前、NP O法が施行され、日本において「市民」をどう確立し、「新しい公共」をどう創っていくかが議論されてきました。そんな中、東京YMCAに誕生したブランドが「New(リビィ)」でした。「子どもたちがあつちのままいられる場を提供する」。「教育的なメッセージが散乱する中、なかなかセッションナルでした▼最初の10年で50社以上の企業、1000名以上の個人から支援を得て、1500組以上の方々にサービスを提供してまいりました。しかしその後、指定管理制度や委託事業などで、社会のこうした機運は絡め取られていった、私はその様子をみています。逆にならぬと公的資金を受けていない団体がきつくなっている▼私は今再び20年前の原点を思い出す時が来ていると考えます。ゆえに今ブランドが有効かと思うのです。仮に東京YMCAが「New」の様に50のブランドを確立すると、今後10年で2500の企業、5万人の個人の支援を得られるはず。そしてこれを全国規模で継続することで「新しい公共」を生み出し、社会に対して新たなインパクトを与える活動になると思っております。(チャイルドケア事業部 統括 秋田正人)



赤三角

# 室内温水プール100年記念 ふんどし祭り



→昔の「たらい合戦」を  
まねて「ビート板競争」  
を楽しむ子どもたち。



東京YMCAが1917年(大正6年)に日本初の室内温水プールを設立してから今年で100年を迎えたことを記念して7月2日、東陽町ウエルネスセンターと山手コミュニティセンターの2カ所で行った「ふんどし祭り」を開催。3歳から成人まで約50人が、当時と同じようにふんどしで泳いでみました。

子どもたちは初めて見るふんどしに、「タオル?」「首を傾げるなど興味津々。「えっ?」と恥ずかしがりながらも締めると、水着とは違う感覚にワクワク、ソワソワ、大興奮でした。その後、昔の東京YMCAで行われていたのと同じように、皆で「パン食い競争」や、「ビート板競争」などを楽しみました。途中でふんどしが緩むこともありましたが、担当スタッフいわく、「水中では水分でふくらむので、思ったよりもぎゅっと締まって安定感がある。ゴムの水着より解放感もあって意外と快適に泳げました。」

1時間の体験の後には子どもたちもすっかりふんどしを気に入って、「来週の練習もふんどしで泳いでいい?」と質問が出たほど。ロッカーへ帰る後ろ姿は何か誇らししく、勇ましく、よく似合っていました。



↑全国YMCAで作成している「ウォーターセーフティー・ハンドブック」。水遊びの注意事項からAEDの使い方まで、水上安全の知識を全14頁にわたって説明。毎年改訂を重ねて地域の小学校等にも広く配布しています。下記ホームページにも掲載しました。ぜひ活用ください。  
<http://tokyo.ymca.or.jp/wellness/>

### 海上安全キャンペーン

#### 海に似た環境で 着衣泳体験

子どもたちを水難事故から守るため全国のYMCAは6月18日、「水上安全キャンペーン」を行いました。東京YMCAでは、山手センターと東陽町センターの2カ所で行った「着衣泳体験」などを実施。年中から小学2年生まで131人が参加しました。YMCAでは30年以上にわたって毎年このキャンペーンを実施しています。

子どもたちは、海や川などに近い環境を疑似体験してもらおうと、プールに波を起こして歩いたり、黒く塗りつぶしたゴーグルをして視界の悪い水の中を体験したり、ひもを巻き付けたフープをくぐって、海藻から体験をするなど、プールとは違う環境を体験しました。子どもたちからは、「服を着たまま水の中に入ると、洋服がすごく重くなる」「何も見えない水の中はすごく怖い」といった感想が聞かれたほか、保護者からも「なかなかできない体験ができて良かった」などの声をいただきました。

また恒例の「20m(東陽町は25m)チャレンジ」の体験クラスでは、25m泳げない子どもたちを対象に浮き具などで呼吸を確保しながら、身を守るための術を体験・習得しました。

終了後、お迎えに来ていた保護者に「25m頑張ったよ!」と嬉しそうに報告する姿も見られました。

水の事故の多くは、岸から3m以内でおきています。それは、誤って水に落ちると気が動転してしまい、岸に戻りたくても戻れないためです。YMCAでは「あわてて戻ろうとせずに、浮いて待つこと」など、安全の知識を、体験を交えながら伝えていきます。

実際にこのプログラムを体験することで水の事故が少しでも減り、かけがえのないのちが守られるよう、全国のYMCAは今後も安全教育を推進してまいります。

(山手コミュニティセンター 大津桃子)

### 活動の源は「スピリット」

YMCAの「赤三角」マークには「スピリット、マインド、ボディ」と記されていますが、世界は最近ようやく「スピリット」を大事にしようという流れになってきました。世界保健機関(WHO)はこれまで健康の定義を「身体的、精神的、社会的に健やかな状態 (physical, mental and social well being)」としてきましたが、近年ここに「スピリット」を追加することを提言しました。

東日本大震災の時、家を失い、家族を失って絶望の淵に立たされた人々が最後にできたことは、祈りでありました。手を合わせて祈るほかなかった。宮城県門脇町では、被災者のために宗教の枠を越えた祈りの場が作られました。そして、共に祈る中から少しずつ、復興への力が作られて行きました。

戦争直後のYMCAもまた、聖書を読んで共に祈り、希望の光を見出し、食べるものもなく窮乏を極め、希望を見失った社会の中でYMCAは、全国で「聖書輪読運動」を始め、多くの企業がこれに参加しました。その静かな流れの中から、今日の多種多様な活動がダイナミックに展開されてきたのです。「スピリット」を土台とした活動であること。これこそがYMCAの最も大切な原点だと私は思っています。

(まどめ 広報室)

※このセミナー全体の報告書は日本YMCA同盟が9月に発行の予定です。



## 「Yわい歌の広場」開催80回



### 東陽町コミュニティセンター 仲間と歌い、元気はつらつ

月に1度、東陽町センターを会場に、童謡や唱歌などを歌う「Yわい歌の広場」が7月13日、開催80回目を迎えました。2010年5月、20人ほどの参加者でスタートしたこの会は口コミで広がっていき、今では毎月60〜70人の方が参加。60代後半から90歳を越える方まで、中には1時間以上かけて通い続ける方もいます。8月を除き年間11回開催していますが、天候が悪い日もほとんどお休みする方はなく、皆さん楽しみに参加しています。この日も開始30分前から会場前に行列が並び、話に花が咲いていきました。

2010年5月、20人ほどの参加者でスタートしたこの会は口コミで広がっていき、今では毎月60〜70人の方が参加。60代後半から90歳を越える方まで、中には1時間以上かけて通い続ける方もいます。8月を除き年間11回開催していますが、天候が悪い日もほとんどお休みする方はなく、皆さん楽しみに参加しています。この日も開始30分前から会場前に行列が並び、話に花が咲いていきました。

「Yわい歌の広場」は、東陽町で被災した石巻市の仮設住宅などを訪問しており、一緒に歌うことで被災者を励ましたり、初回からこの会を率いてきたボランティアの吉田紘子さんは、「歌はいろいろな違いを越えて心に届きます。歌で絆ができました。最初は口を閉ざしていた被災地の方々もすっかり親しくなり、仮設住宅に招待されることもしばしばあります。選曲 歌詞の用意、ピアノ伴奏、受付、お茶菓子などの用意など、会の運営はボランティアが中心となって担っています。今回も80回の記念に、手作りのマドレーヌを100個焼いて参加者にプレゼント。「80回記念抽選BOX」を用意してキープスやTシャツなど景品も配ったり、お誕生日の方をお祝いしたりと心のこもった運営で、温かく和やかな「歌の広場」が作られています。

ボランティアも参加者も気持ちのいい笑顔で、「100回まで元気に歌いましょう」と約束して閉会となりました。

(広報室)

【ご協力お願い】

### 九州北部豪雨 緊急支援募金

九州北部に甚大な被害をもたらした豪雨災害の復興のため西日本地区のY M C Aは、物資の支援、ボランティア派遣など、緊急支援活動を実施しています。



中長期的には、自然の脅威にさらされた子どもの心のケアプログラム(キャンプ)を実施し、子どもたちが元気になることによって、地域が復活していくことを目指します。皆さまのあたたかいご支援をお願いいたします。

#### 【募金の使途】

お預かりした募金は日本Y M C A同盟で集約し、主に福岡県朝倉市、大分県日田市へのボランティアの派遣(短期)、および子どもたちの心のケアキャンプ(中長期)に用いられます。

【募金期間】2017年7月14日(金)~9月30日(土)

【募金方法】窓口、または下記口座へ振込をお願いします。

みずほ銀行 神田支店(店番号108)

普通1123669 公益財団法人東京Y M C A

\*お名前の前に「キュー」とお書き添えください。

### ■ワールドチャレンジ ~ 世界へ発信 ~

Y M C Aワールドチャレンジ」は、6月6日のY M C Aの誕生日前後に、世界中のY M C Aが一斉にアクションを起こすイベントです。



今年のテーマは「Y M C Aが生み出したバスケットボールで若者をエンパワーしよう」(Empowering Young People Through Basketball)というもの。全国のY M C Aでは、バスケットゴールにシュートをしたり、メッセージを撮影してフェイスブックに発信しました。東京Y M C Aからは、ニューヨーク州に派遣予定の6名のボランティアが渡米を前にメッセージを書いた他(=写真)、高等学院やにほんご学院の生徒たちによる動画を投稿しました。「平和」「スマイル」「前向きでいこう」など、メッセージと抱負が並びました。

世界Y M C Aワールドチャレンジのフェイスブックはこちら

●<https://www.facebook.com/ymcas/> (←英語のみ)

●<https://goo.gl/HRq23f> (←日本からの投稿のみ)

- #### 2017年度 表彰賛助会員
- 【継続45年】株式会社日立ハイテクノロジーズ 株式会社芝パークホテル
  - 【継続40年】イオン株式会社 有限会社保険ネットワークセンター
  - 【継続20年】株式会社メディア・ボックス
  - 【継続15年】株式会社栗田建築事務所 YMサービス株式会社
  - 【継続5年】株式会社高島 ADEKAライフクリエイティブ株式会社
  - 【新入会員】デイル・インターナショナル株式会社 グッドクリーン株式会社 株式会社相互 アチーブメント株式会社

#### 賛助会年会・アドバイザー会 企業の支援に感謝して

日ごろ東京Y M C Aを支えてくださる企業・団体へ感謝や表彰を行なうため7月11日、恒例の「賛助会年会・アドバイザー会」を開催。賛助会企業29社と、アドバイザー、評議員など約60人が、千代田区の学士会館に集まりました。賛助会は、年会費による支援のほか、チャリティーランや

「賛助会年会・アドバイザー会」を開催。賛助会企業29社と、アドバイザー、評議員など約60人が、千代田区の学士会館に集まりました。賛助会は、年会費による支援のほか、チャリティーランや

「賛助会年会・アドバイザー会」を開催。賛助会企業29社と、アドバイザー、評議員など約60人が、千代田区の学士会館に集まりました。賛助会は、年会費による支援のほか、チャリティーランや



賛助会会長 氏家純一氏

えてくださっています。この日は、古賀博評議員会会長の開会挨拶に続き、氏家純一賛助会会長(野村ホールディングス株式会社名誉顧問)写真)から日ごろの感謝が述べられ、また賛助会員となつて5年、10年と5年の節目にある企業に感謝状を贈呈しました。

その後、「日本Y M C Aフロンディング・プロジェクト」について、全

国フロンディングタスクチームメンバーでもある星野太郎副総主事より、その経緯や願い、コンセプト、今後の予定などを紹介しました。

多くの協力のよって多彩な活動が展開できたことを感謝し、閉会となりました。

#### 「第20回会員芸術祭」 会員・学生 力作を出品

Y M C Aの会員・関係者(準委員)による講評のほかが、昨年に続き、嶋倉昌平氏が津軽三味線を熱演した。6月26日~7月1日、東陽町センターで開催された。24日のオープニングセレモニーでは、菅谷功氏(新槐樹社)が、巻子、七宝焼き、陶芸、写真など、多彩且つ本格的な作品が並び、訪れた人々を楽しませてくれました。なお、今年もまた芸術祭実行委員会が運営全般を担ったほか、在京ワイズメンクラブと会員たちが受付に協力いただきました。感謝して報告します。(会員部 小松康広)

→高等学院の生徒11人の作品をつないだ合作

#### シリーズ 資料室の窓から(99) 『スウィフト送別の輪の中に』

齊藤 實 本会元副総主事

夏が来た。Y M C A史学会有志が横浜の外人墓地に集まる。北米Y M C Aが日本に派遣した初の名譽主事スウィフトが亡くなった8月14日を覚えて、その日に近い土曜日の正午、スウィフト夫妻の墓碑前に讃美歌がひびく。祈りが捧げられる。東京・横浜の両Y M C Aによる小さな集いとなって久しい。「真夏の墓参」と題して機関誌「東京Y M C A」で紹介し、『東京Y M C A』資料室の窓から』八十八話に掲載されている。この墓参を今年からは、「スウィフト&ミラー墓参」と呼ぶ。スウィフト夫妻の墓のすぐ近くに、スウィフトと共に東京Y M C Aで働いたミラー主事の墓があるからである。スウィフトとミラーは、銀座時代を終えた東京Y M C Aが神田に移った時期の活動すべてをとり切った先達なのである。ふたりは、東京Y M C A初の専任主事となったばかりの丹羽清次郎を援けた。先任者スウィフトを補佐したミラー主事はモット博士とコーネル大学の同級生であった。東京

日に近い土曜日の正午、スウィフト夫妻の墓碑前に讃美歌がひびく。祈りが捧げられる。東京・横浜の両Y M C Aによる小さな集いとなって久しい。「真夏の墓参」と題して機関誌「東京Y M C A」で紹介し、『東京Y M C A』資料室の窓から』八十八話に掲載されている。この墓参を今年からは、「スウィフト&ミラー墓参」と呼ぶ。スウィフト夫妻の墓のすぐ近くに、スウィフトと共に東京Y M C Aで働いたミラー主事の墓があるからである。スウィフトとミラーは、銀座時代を終えた東京Y M C Aが神田に移った時期の活動すべてをとり切った先達なのである。ふたりは、東京Y M C A初の専任主事となったばかりの丹羽清次郎を援けた。先任者スウィフトを補佐したミラー主事はモット博士とコーネル大学の同級生であった。東京

に着いたばかりの頃は、丹羽清次郎と同居して本郷西片町からY M C Aに出勤していた。神田猿樂町で始めた「青年夜学校(東京Y M C A英語学校の前身)」では教鞭も執った。

ここに掲げた写真は、1898年5月、帰米するスウィフト夫妻送別会が、神田美土代町の初代会館で開かれたときのものである。会館敷地内に並んだこの群れの中にはミラー主事も居る筈である。今この人がミラーだと確定出来る肖像がない。スウィフト帰米後の東京Y M C A活動を丹羽清次郎と2人で担うことになってミラーは、何を思ったか。夫人と並んだスウィフトの右2人目に初代理事長三好退蔵がいる。その下が江原素六。スウィフトの右後ろは丹羽清次郎。その右が井深梶之助。丹羽の上が植村正久。みんな、送別の輪の中にいた。

#### 子育てコラム 「ワンオペ育児」に支援の手を

ちにとっても深刻な問題のひとつです。子どもはかわいいし、かわいがりたい。けれど、毎日家事・育児に追われ、心も体もヘトヘト。子育ては楽しいこともあるけど孤独。「日誰とも話してない」と涙を流される方も少なくありません。

国連の子どもの権利委員会は「乳幼児期の子どもの権利の保障のためには、子どもの養育に主として関わる人々を支援することも重要だ」としています。子どもの乳幼児期が大事だということは、その時期に最も関わる保護者の方たちへの支援もおおのずと大切になってくるのです。

アフリカのことわざで「ひとりの子どもを育てるには村中みんなの知恵と力が必要」という言葉があります。

港区芝浦地域は今なお開発が進み、街はさらに整備され変化しています。人口は増加傾向にあり子どもの数も急増していますが、すべての子どもたちが健康やかに育つよう知恵と力を合わせられる地域でありたいと思います。そのために、地域の子育て支援施設として子育てをするすべての人がこのかけがえのない時間を喜びと希望をもって過ごせるよう、あたたかな支援の手を差し伸べられる施設でありたいと考えています。

港区立芝浦アイランド児童高齡者交流プラザ 主任 高橋 彩子